

別紙

第3回「日中林業担当局庁の長による定期対話」の結果概要について

1. 時期・場所・参加者

平成19年9月3日（月曜日）、中華人民共和国北京市内において、辻健治林野庁長官と賈治邦（かちほう）中華人民共和国国家林業局長との間で、第3回「日中林業担当局庁の長による定期対話」が行われた。会合には、日本側から林野庁長官など5名、中国側から賈局長、曲国際合作司司長など5名が参加した。

2. 会合の概要

（1）二国間協力について

中国側から、我が国の森林・林業分野におけるODA協力による成果への高い評価と民間ベースの緑化協力を支援する日中民間緑化協力委員会資金による助成事業の取組に対する謝意が示されるとともに、今後とも森林・林業分野の交流・協力を進展させることで一致した。

（2）木材産業の振興について

中国側から、日中間の貿易全体に占める林産物貿易の割合が低いため、林業振興の一つとして11月に中国国際林製品博覧会を開催する旨の紹介があり、日中両国は林産物貿易の強化を通じた木材産業の振興で一致した。

（3）気候変動、砂漠化防止について

森林と気候変動の関連や砂漠化防止などについて、関係省庁とも連携し、日中両国が協力して取り組むことを確認した。

（4）マツクイムシ、山火事対策について

中国でのマツクイムシなどによる被害の深刻化を受け、中国側から、日中両国の有害生物防除、山火事に関する協力を進めたいとの提案があり、日中両国で検討していくことで一致した。

（以上）